

## 資料編

---

3.1 私立大学化学系教員連絡協議会規約

---

## (目 的)

第 1 条 本会は、私立大学化学系各学科における教育および研究に関わる問題点を討議し、化学教育の改善および研究の発展に寄与することを目的とする。

## (会 員)

第 2 条 本会の会員は、私立大学化学系各学科とし、総会および集会の出席者は各学科の教員（原則として専任講師以上）とする。

## (事 業)

第 3 条 本会は、第 1 条の目的を達成するため、総会および年 1 回以上の集会を開催する。

## (運 営)

第 4 条 本会には、事業および運営に関する事項を協議するため、次の役員を置く。

会 長 1 名

副会長 若干名

理 事 若干名

幹事学科 6 学科（内 1 学科が当番学科となる。）

第 5 条 役員は、総会で選出する。

第 6 条 会長は、本会を代表し、会務を総括する。

第 7 条 副会長は、会長を補佐し、会長事故ある時はその責務を代行する。また、原則として副会長の中から 1 名が次期会長の任にあたる。

第 8 条 理事は、本会の目的達成に助力する。

第 9 条 役員の任期は、原則として 2 年とし、再任は妨げない。また、幹事学科は 1 年毎に半数交替する。

第 10 条 当番学科は、幹事学科の互選によって決め、本会の事業実施および会務を行い、その任期は 1 年とする。

第 11 条 本会の会長、副会長経験者を顧問・名誉顧問とし、顧問は本会の運営および発展のための指導、助言を与えるものとする。

## (会 計)

第 12 条 本会の会費は、各学科につき年額 15,000 円とし、総会および集会などの参加費は別に徴収することができる。

第 13 条 本会の収支決算は、前年度当番学科が総会で報告し、その会計監査は前々年度当番学科が行う。

(雑 則)

第14条 本規約の改廃は、総会出席者の過半数の賛同を必要とする。

(付 則)

この規約は、昭和52年10月1日より施行する。

この規約は、昭和57年11月27日より改正施行する。

この規約は、昭和58年11月19日より改正施行する。

この規約は、昭和59年11月17日より改正施行する。

この規約は、平成4年11月7日より改正施行する。

この規約は、平成7年10月14日より改正施行する。

この規約は、平成11年10月16日より改正施行する。

この規約は、平成12年10月14日より改正施行する。

この規約は、平成23年10月15日より改正施行する。

## 3.2 歴代会長

代	会 長	所 属	任 期
1	永井 芳男	東洋大学	1974.6-1977.9
2	東 健一	早稲田大学	1977.10-1982.10
3	菊地 真一	東京工芸大	1982.11-1988.10
4	村井 資長	早稲田大学	1988.11-1994.9
5	石黒 鉄郎	中央大学	1994.10-1996.9
6	吉弘 芳郎	明治大学	1996.10-2000.9
7	高宮 信夫	早稲田大学	2000.10-2004.9
8	山下 忠孝	東洋大学	2004.10-2007.9
9	中田 常雄	中央大学	2007.10-2010.9
10	本間 隆夫	東海大学	2010.10-

## 3.3 役 員 (2013年度)

会 長	本 間 隆 夫	東海大学名誉教授
副会長	香 川 詔 士	関東学院大学名誉教授
副会長	日 高 久 夫	明星大学名誉教授
理 事	西 海 英 雄	法政大学名誉教授
理 事	吉 田 泰 彦	東洋大学理工学部応用化学科
理 事	倉 田 武 夫	明治大学理工学部応用化学科
名誉顧問	吉 弘 芳 郎	(明治大学理工学部応用化学科)
名誉顧問	中 田 常 雄	(中央大学理工学部応用化学科)

### 3.4 私立大学化学系教員連絡協議会（略称：私化連）年表＜1974～2011＞

（関東学院大学 香川メモ）

回数	開催年月日	会 長	当 番 校	主 要 話 題	話 題 提 供 者
1	1974(S49.6.28)	故 永井 芳男	中 央 大 学	各大学の状況について	フリートーキング
2	1974(S49.12.6)	"	"	助手制度について	"
3	1975(S50.6.20)	"	"	高等学校の化学新課程に大学は如何に対応すべきか	都立日比谷高校 吉田 隆史
4	1975(S50.12.13)	"	"	特別経費配分について	私立大学振興財団常務理事 池中 弘
5	1976(S51.9.11.12) (一泊)	"	東京理科大学 (東京理科大学 セミナーハウス 一泊)	私立大学のレベルアップについて	東京印書館 清水 浩 三井石油化学 岡崎 英博
6	1977(S52.10.1)	故 東 健一	東京理科大学	化学系学生の就職動向について	共通一次入試センター 加藤 睦男
7	1978(S53.9.30)	"	明 治 大 学	高校生の化学に対する関心の持ち方	明大附属高校 大井手幸夫
8	1979(S54.9.29)	"	早稲田大学	化学系学生の就職動向について	日本リクルートセンター 箕浦 卓司
9	1980(S55.9.27)	"	立 教 大 学	企業側から大学の化学教育への展望	ライオン(株)人事部長 松崎 靖
10	1981(S56.11.28)	"	青山学院大学	多様化する最近の学生について(1) " (2)	明治大学 吉弘 芳郎 東洋大学 山下 忠孝
11	1982(S57.11.27.28) (一泊)	故 菊地 真一	中 央 大 学 (関東学院大学葉山 セミナーハウス 一泊)	能力とは何か？ 1. 帰納法と仮説 2. 学生の能力について(このテーマを選んだ理由) 3. 演習と試験成績についての一考察 4. 能力別クラス編成について 5. 最近の欧米における能力観	早稲田大学名誉教授 東 健一 中央大学 石黒 哲朗 関東学院大学 田口陽太郎 東海大学 飯田 昌盛 中央大学 吉田 正昭
12	1983(S58.11.19)	"	関東学院大学	化学系実験・研究室における防災安全対策について " 映画「ぐらっときたらどうする」	東京大学名誉教授 難波 桂芳 横浜市金沢消防署予防課長 池田 実 横浜市消防局編集
13	1984(S59.11.17)	"	東京工芸大学	高校新指導要領改訂について	
14	1985(S60.11.30)	"	城 西 大 学	18歳人口の急増急減期に対する対策 私化連の歴史と目的 アンケート「初等化学教育の問題点」	文部省大学局高等教育課 鬼島 康宏 中央大学 石黒 哲郎 城西大学
15	1986(S61.11.15)	"	東 邦 大 学	大学入試改革の動向について 電子部品材料と化学 アンケート報告	大学入試センター管理部長 加藤 義行 旭硝子(株)技師長 川田淳一郎 城西大学
16	1987(S62.11.14)	"	東京電機大学	大学の国際化 電子顕微鏡学の散策	文部省学術国際局 本間 雅雄 元東京都立大学教授 山辺 良美

17	1988(S63.11.5)	故 村井 資長	成 蹊 大 学	最近の写真化学 大学の国際化 生命科学の今後	東京工芸大学学長 菊地 真一 元早稲田大学総長 村井 資長 東京工業大学学長 田中 郁三
18	1989(H1.11.10.11) (一泊)	故 村井 資長	東京理科大学 (東京理科大学 セミナーハウス 一泊)	生体関連有機化合物の化学 高温超伝導酸化物の化学	東京理科大学 鶴田 禎二 東京理科大学 笛木 和雄
19	1990(H2.11.10)	"	早稲田大学	理工系私学入試の現状	旺文社教育情報局長 代田 森之
	1991(H3.7.14)	"	(甲南大学)	第1回関東・関西私立大学化学系学科合同懇談会 1. 理工系学生の減少に対する一考察 2. 一般教育における化学教育 フリートーキング	関東学院大学 香川 紹士
20	1992(H3.11.9)	"	慶應義塾大学	推薦入学制度の現状と問題点(アンケート報告とフリートーキング)	慶應義塾大学
	1992(H4.11.13)	"	(日本大学)	第2回関東・関西私立大学化学系学科合同懇談会 大学新設置基準について	大学審議会委員(早大) 示村悦二郎
21	1992(H4.11.13)	"	工学院大学	自己点検。自己評価について(アンケート報告とフリートーキング)	工学院大学
22	1993(H5.10.15)	"	明 星 大 学	学生による授業評価の性質 大学の現状(アンケート報告とフリートーキング)	東海大学教育研究所 安岡 高志 中央大学・関東学院大学
23	1994(H6.10.14)	石黒 鉄郎	中 央 大 学	大学大綱化の次に考えること フリートーキング (名簿発行)	芝浦工業大学 木邑 隆保 中央大学
24	1995(H7.10.12)	"	芝浦工業大学	化学系大学における薬品の管理とその保全について 1.地震と化学実験室・・・阪神大震災に学ぶこと 2.ケミカルショップ方式と薬品の管理について フリートーキング	芝浦工業大学 木邑 隆保 早稲田大学環境保全センター 村上 明男 芝浦工業大学
25	1996(H8.10.12)	吉弘 芳郎	東 洋 大 学	パネルディスカッション 1.入試の多様化 2.大学のリストラに関して 3.教育と研究	東洋大学
26	1997(H9.10.18)	"	神奈川工科大学	社会が要請する化学系教育 1.考えさせる教育についての一観察 2.私学における化学教育	神奈川工科大学 井川 博行 明治大学名誉教授 吉弘 芳郎
27	1998(H10.10.17)	"	埼玉工業大学	補習授業(アンケート報告とフリートーキング) 卒業研究(アンケート報告とフリートーキング)	埼玉工業大学
28	1999(H11.10.16)	"	上 智 大 学	大学と高校の接点からみた 化学教育のあり方と入試問題及び将来の傾向 高校教師の見た化学 (名簿発行)	ベネッセコーポレーション編集長 石井 豊彦 武蔵高校教諭 高江 州
29	2000(H12.10.14)	故 高宮 信夫	北 里 大 学	化学物質とその安全対策(化学物質過敏症)	北里大学医学部 富田 幹夫
30	2001(H13.10.13)	"	東京理科大 化学科	日本技術者教育認定制度 パネルディスカッション	慶応大学 柘植 秀樹 東海大学 本間 隆夫
31	2002(H14.10.12)	故 高宮 信夫	東海大学 化学科	大学等における化学物質管理促進法(PRTR法) への取り組み 教育評価討論会フリートーキング	早稲田大環境保全センター 細井 肇 東海大学

32	2003(H15.10.8)	〃	学 習 院 大 学	高校の授業「化学」と生徒の理解度  魅力ある学科「化学」にするための工夫(フリートーキング) への取り組み (名簿発行)	学習院男子高等科 鶴沢 哲丸 学習院女子高等科 栗原 うの
33	2004(H16.10.16)	故 山下 忠孝	東海大学 生命化学科	産学官連携から見た日本社会と人材育成 大学院教育(アンケート報告とフリートーキング)	東海大学 内田 裕久 東海大学
34	2005(H17.10.18)	〃	法 政 大 学	理科離れの中で魅力ある化学系学科を構築するには (アンケート報告とフリートーキング)	法政大学
35	2008(H18.10.10)	〃	明 治 大 学	理科離れの中で魅力ある化学系学科を構築するには 〃 (アンケート報告とフリートーキング)	千葉県立佐倉高校 保谷 憲久 都立目黒高校 中山 中
36	2007(H19.10.27)	〃 代理 中田 常雄	千葉工業大学	理科離れの中で魅力ある化学系学科を構築するには (講演:サイエンスコミュニケーション) (講演:就職戦線最新情報) (アンケート集計報告)	独立行政法人国立科学博物館 亀井 修 NPO法人日本人材教育協会 東条 文千代
37	2008(H20.10.25)	中田 常雄	日本大学生産工学部	いかにしてモチベーションの高い学生を育てるか (講演:FDに関する話題と課題) (講演:キャリア発達支援はモチベーションの高い学生を育てるか) (アンケート集計報告)	日大生産工学部教育開発センター五十畑 弘 多摩英大 榎本 和生
38	2009(H21.9.26)	中田 常雄	立教大学	次世代を担う若者への化学教育の進行 (講演:立教大学理学部の取組・CBLS紹介) (講演:中高生の化学教育の実情) (講演:化学教育・新しい視点) (サイエンス教育とメディア) (自由討論)	立教大学CBLSコーディネータ 立教新座中高教諭 渡部 智博 開成高校 斎藤 幸一 (株)ジョブクリエイト 細山 敏之
33	2004(H16.10.16)	故 山下 忠孝	東海大学 生命化学科	産学官連携から見た日本社会と人材育成 大学院教育(アンケート報告とフリートーキング)	東海大学 内田 裕久 東海大学
34	2005(H17.10.18)	〃	法 政 大 学	理科離れの中で魅力ある化学系学科を構築するには (アンケート報告とフリートーキング)	法政大学
35	2006(H18.10.10)	〃	明 治 大 学	理科離れの中で魅力ある化学系学科を構築するには 〃 (アンケート報告とフリートーキング)	千葉県立佐倉高校 保谷 憲久 都立目黒高校 中山 中
36	2007(H19.10.27)	〃 代理 中田 常雄	千葉工業大学	理科離れの中で魅力ある化学系学科を構築するには (講演:サイエンスコミュニケーション) (講演:就職戦線最新情報) (アンケート集計報告)	独立行政法人国立科学博物館 亀井 修 NPO法人日本人材教育協会 東条 文千代

37	2008(H20.10.25)	中田 常雄	日本大学生産工学部	いかにしてモチベーションの高い学生を育てるか (講演:FDIに関する話題と課題) (講演:キャリア発達支援はモチベーションの高い学生を育てるか) (アンケート集計報告)	日大生産工学部教育開発センター五十畑 弘 多摩英大 榎本 和生
38	2009(H21.9.26)	中田 常雄	立教大学	次世代を担う若者への化学教育の進行 (講演:立教大学理学部の取組・CBLS紹介 (講演:中高生の化学教育の実情) (講演:化学教育・新しい視点) (サイエンス教育とメディア) (自由討論)	立教大学CBLSコーディネータ 立教新座中高教諭 渡部 智博 開成高校 斎藤 幸一 (株)ジョブクリエイト 細山 敏之
39	2010(H22.10.30)	本間 隆夫	芝浦工業大学	大学教育と就職活動 (講演:大学教育とイノベーション人材の育成) (講演:入学から卒業までの総合的なキャリア支援体制) (講演:企業が求める人物像と就職活動の実際) (アンケート集計報告)	芝浦工業大学 学長 柘植 綾夫 芝浦工大キャリアサポートセンター 大内 浩 日立化成CSR総括部人事センター 部長:湯浅正己、部長代理:野上竜哉
40	2011(H23.10.15)	本間 隆夫	東洋大学理工学部	学科としてのキャリア支援 (講演:原発による深刻な放射能汚染に関し、化学系学科 の学生達にどのように説明するか(化学者の視点から) (アンケート集計報告) (自由討論)	学習院大学理学部化学科 村松 康行
41	2012(H24.10.27)	本間 隆夫	成蹊大学理工学部	化学系実験室の安全を考える (講演:東日本大震災から得た教訓) (各大学における安全対策事例の紹介) (アンケート集計報告:化学系実験の安全管理について)	東北大学環境保全センター 中村 修 東海大学理学部化学科、東京理科大学理学部 化学科、明星大学理工学部総合理工学、 成蹊大学理工学部物質生命理工学科
42	2013(H25.11.16)	本間 隆夫	明星大学理工学部	シンポジウム「私化連40周年記念誌の編纂に向けて」 (アンケート集計報告:学科組織、実験教育、実験補助員、 助教制度、就職支援、大学院教育) (自由討論)	

### 3.5 私化連当番学科・幹事学科の記録

No.	大学・学部名	学科名	年 度																																										
			51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	H1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		
1	青山学院大学・理工学部	化学・生命科学科					○	●							○	○													○	○									○	○					
2	学習院大学・理学部	化学科																											○	●										○	○				
3	神奈川大学・工学部	物質生命化学科								○	○									○	○									○	○														
4	神奈川工科大学・工学部	応用化学科								○	○											○	●																○	○					
5	関東学院大学・理工学部	理工学科 応用化学コース							○	●										○	○												○	○											
6	北里大学・理学部	化学科					○	○									○	○										○	●										○	○					
7	慶應義塾大学・理工学部	応用化学科				○	○						○	○														○	○																
8		化学科															○	●																											
9	工学院大学・工学部第一部	応用化学科					○	○										○	●																	○	○								
10		環境エネルギー化学科													○	○												○	○											○	●				
11	埼玉工業大学・工学部	生命環境化学科	○	○								○	○												○	●													○	○					
12	芝浦工業大学・工学部	応用化学科									○	○								○	●																	○	●						
13	城西大学・理学部	化学科				○	○					○	●									○	○															○	○						
14	上智大学・理工学部	物質生命理工学科				○	○					○	○											○	●														○	○					
15	成蹊大学・理工学部	物質生命理工学科		○	○	○						○	●											○	○															●					
16	千葉工業大学・工学部	生命環境科学科										○	○										○	○										○	●										
17	中央大学・理工学部	応用化学科	●					○	●											○	●													○	○										
18	東海大学・工学部	応用化学科								○	○										○	○																							
19		生命化学科																																											
20	東海大学・理学部	化学科						○	○											○	○								○	●											○	○			
21	東京工芸大学・工学部	生命環境化学科									○	●	○									○	○													○	○								
22	東京電機大学・工学部	環境化学科											○	●																						○	○								
23	東京都市大学・工学部	エネルギー化学科																																											
24	東京理科大学・工学部第一部	工業化学科	○	●															○	○																○	○								
25	東京理科大学・理学部第一部	化学科								○	○																	○	●											○	○				
26	東京理科大学・理工学部	工業化学科										○	●		○	●												○	○																
27	東邦大学・理学部	化学科																							○	○														○	●				
28	東洋大学・理工学部	応用化学科				○	○								○	○						○	●																○	●					
29	日本大学・理工学部	物質応用化学科	○	○	○				○	○										○	○								○	○									○	○					
30	日本大学・生産工学部	応用分子化学科												○	○									○	○										○	●									
31	日本大学・工学部	生命応用化学科															○	○									○	○													○	○			
32	法政大学・生命科学部	環境応用化学科																				○	○																						
33	明治大学・理工学部	応用化学科	○	○	●						○	○										○	○												○	●									
34	明星大学・総合理工学部	総合理工化学科 生命科学・化学系						○	○										○	●								○	○												○	●			
35	立教大学・理学部	化学科				○	●								○	○												○	○										○	●					
36	早稲田大学・先進理工学部	化学・生命化学科				○	●											○	○																			○	○						
37		応用化学科															○	●												○	○														

### 3.6 アンケート

章番号	アンケートテーマ		2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
			東海大学	法政大学	明治大学	千葉工大	日大生産学部	立教大学	芝浦工大	東洋大学	成蹊大学	明星大学
			大学院問題	初年次教育			モチベーションを高める		就職活動	就職活動	化学実験の安全性	方向性
2.1	入試	入学選考法	○									
		選考時期	○									
		特別入試制度			○							
		指定校推薦入試										
		AO入試										
		付属校推薦入試										
	オープンキャンパス					○						
2.2	教員・学生統計											
2.2.1		教員数				○						○
2.2.1(3)		卒業生教員数										○
2.2.2		助教制度										◎
		在籍者数	○									○
2.2.1-2		担当学生数	○									
		授業時間数	○									
		会議に要する時間	○									
2.3		カリキュラム	○									
		単位数	○		○							○
2.3	学部専門科目											
		教育方針										○
		技術者教育										○
		学生支援				○						
2.3.2	教職課程											○
2.3.3		JABEE	○	○		○						○
		放射線								○		
2.3.4	初年次教育			○	○		○					○
		補習教育を行う教員		○								
		ゆとり教育への対応		○								
		推薦入学者への事前指導		○								
		高大連携		○								
		専門科目への導入教育		○								
	学部教養科目											
		組織		○								
		一般教育専任教員数		○								
		体育		○								
		習熟度別クラス		○			○					
		学部共通基礎実験		○								
		情報リテラシー教育		○								
		第二外国語		○								



		TOEICなどの外部試験		○								
テーマ番号	アンケートテーマ		2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
			東海大学	法政大学	明治大学	千葉工大	日大生産学部	立教大学	芝浦工大	東洋大学	成蹊大学	明星大学
			大学院問題	初年次教育			モチベーションを高める		就職活動	就職活動	化学実験の安全性	方向性
		英語教育					○					
2.3.5	入学前教育											◎
		学力幅			○							
2.3.6	モチベーションを高めるには						◎					
2.4		実験										○
2.4.4	実験助手問題											◎
		助教										○
2.4.5		実験の安全性									○	
	卒業研究				○	○	○					
2.5	大学院問題	問題点	○									○
		進学			○							○
		在籍者数										○
		学費										○
		大学院担当教員の資格基準	○									
		科目数、履修時間数等統計	○									
		中間発表	○									
		TA	○									
		研究時間の管理	○									
		博士課程後期終了後の進路	○									
		博士課程後期終了後の受け皿	○									
		学部大学院一貫教育	○									
		英語教育	○									
		安全教育	○									
		学会発表	○									
		学会発表補助	○									○
		研究予算										○
		学位授与規定										○
2.6	就職								○	○		
		キャリア教育		○		○				○		○
		インターンシップ								○		
2.7	国際化	スタディアブロード		○								